

～地域連携担当者交流会～

地域や分野毎のより密な意見交換の場を設けるため、大阪を4つの地域（大阪市、北大阪、東大阪、南大阪・泉州）に分け、それぞれに所在する大学や地元自治体も含め、交流会を開催。今後は、大阪府下の自治体とも積極的に関わりながら、大学と地域の密な交流を図っていく予定。以下に大学との連携によるまちづくりが行われている例を表に示す。

大学との連携によるまちづくり

大学コンソーシアム大阪における地域連携事業は、複数の加盟大学が共同で取り組む地域連携を対象としており、事業委託や事業協力などで自治体や地域とのコーディネートを進めている。大学と地域との連携についての相談等を、大学コンソーシアム大阪事務局が受ける仕組み。また、大学コンソーシアム大阪には、地域連携部会以外に「高大連携部会」「大学間連携部会」「インターンシップ部会」「国際交流部会」の4つの部会を設置しており、各大学、企業、地域等が相談する内容にマッチした部会の取り組み等についても紹介する。

研究タイトル	大学名	連携の対象
独居高齢者 見守りシステム構築にむ けた生活環境に潜む危険 因子の検討	■大阪河崎リハビリテーション大学 （リハビリテーション学部） ■大阪市立大学 ・新産業創生研究センター ・工学研究科電子情報系専攻 ・工学研究科情報処理研究室	●自治体等の健康、福祉、高齢者 介護、集合住宅をご担当の方 ●高齢者介護施設の関係者の方
大規模災害時の屋外避難 誘導システムの構築	■大阪市立大学（生活科学部） ■摂南大学（理工学部） ■関西大学（環境都市工学部）	●自治体等の危機管理、防災、消 防、建設をご担当の方 ●災害時の避難誘導に関心のある 事業者、地域団体の方
児童文学アーカイブの戦 略的利活用による商都大 阪の復興と子どもの都市 内包摂の可能性を探る	■大阪学院大学（経済学部） ■大阪商業大学（経済学部） ■近畿大学（経営学部）	●自治体等の教育文化、生涯学習、 児童文学をご担当の方 ●文化を活かしたまちおこしをご 検討の方

研究タイトル	大学名	連携の対象
微気候に着目した地区計画・建築設計のための外部環境データベースの構築とそれに基づくエコロジー建築化技術の開発 ～大阪市及び瓦屋根をケーススタディとして	■関西大学（環境都市工学部） ■大阪府立大学 （大学院工学研究科機械系専攻） ■大阪市立大学 （大学院工学研究科都市系専攻）	●自治体等の環境、都市計画、住宅、建築関係をご担当の方 ●住宅建設に関連する事業者の方
緑の未来学：なにわ伝統的野菜の地産地消活動を通じて都市型近郊農業の可能性を考える	■大阪学院大学（経済学部） ■千里金蘭大学 ■関西大学 （文学部人間活動理論研究センター）	●自治体等で食文化等の地域資源を活かしたまちづくりをご担当の方 ●食品関連の商品開発や販売等に関わる事業所等の方
「大学連携によるおおさか食と運動・健康フェスタ」の実施	■大阪電気通信大学 （医療福祉工学部） ■大阪産業大学（人間環境学部） ■相愛大学（人間発達学部）	●自治体等で健康やスポーツ、予防医学、介護福祉関係のご担当の方 ●健康や運動、食育などをテーマにした取り組みを行いたい地域、商業施設や集客施設
大阪学生まちづくり フィールドワーク 2008	9 大学 29 名 ■追手門学院大学、 ■大阪学院大学 ■大阪経済大学 ■大阪樟蔭女子大学 ■大阪市立大学 ■関西大学 ■近畿大学 ■梅花女子大学	●自治体等のまちづくりをご担当の方 ●若者、学生の感覚を採り入れたい商店街や自治会等の関係者の方

研究タイトル	大学名	連携の対象
就学前児童健全育成プログラム策定に向けたフィールドワーク	■相愛大学 ■四天王寺大学 ■大阪総合保育大学 ■大阪女学院大学 ■大阪河崎リハビリテーション大学 ■大阪樟蔭女子大学 ■大阪市立大学 ■帝塚山学院大学 ■東大阪大学	●自治体等の就学前児童のご担当の方
保育所長期インターンシップ	5 大学 12 名 ■大阪総合保育大学 ■摂南大学 ■大阪音楽大学 ■大阪経済大学 ■大阪教育大学	●保育所

キャンパスイノベーションセンター

- ・ 東京と大阪の2箇所にあり、それぞれに各地方の大学のオフィスがあり、都心での大学・入試情報の提供、セミナーやシンポジウムの開催、就職支援、同窓会との連携などを行っている。

※ 図版はキャンパスイノベーションセンター東京のHPより

◆大学・入試案内

- ・ 入試説明会の開催、大学パンフレット・募集要項等の配布、入試説明会、就職説明会の開催、模擬授業等。



大学説明会では、個別相談や模擬授業を行い、受験生・高校生・教員に大学を紹介。

◆産官学連携

- ・ 新技術説明会の開催、企業との研究打ち合わせ、共同研究のコーディネート、技術相談、研究シーズ・知的財産のPR・広報、中央省庁・企業等との連絡調整等。



新技術説明会受付の様子

◆教育・研究

- ・ MBA・MO T等の遠隔講義、サテライトキャンパス、研究会の開催等。



テレビ会議システムを利用し、講義を行う

◆セミナー・シンポジウム

- ・公開講座、CIC 共同フォーラム。



大学共同企画として、フォーラムを開催

◆学生支援

- ・就職説明会の開催、就職活動の支援



◆その他

- ・同窓会との連携・支援、情報の収集・発信、大学間の連携



CIC では、定期的に連絡会を行い大学間の連携を強めています

あべのハルカスサテライトキャンパス

・平成26年4月、あべのハルカス23階キャンパスフロアに「大阪大谷大学」（学校法人大谷学園）、「四天王寺大学」（学校法人四天王寺学園）、「大阪芸術大学」（学校法人塚本学院）、「阪南大学」（学校法人阪南大学）のサテライトキャンパスが開設される。学生の教育研究活動や課外活動等の発表の拠点、学生の就職活動を支援するとともに、卒業生の情報交換や交流の場、大学をめざす高校生等への情報発信の拠点、公開講座、講演会等に活用できる施設。（近畿日本鉄道が誘致）下は、あべのハルカスサテライトキャンパス内の四天王寺国際仏教大学キャンパスの完成予想図。



※ 図版は四天王寺大学HPより

*その他

ex.山口福祉大学・・・東京浅草にサテライト教室を開設し、私費留学生向けの奨学制度等を設け、外国人を広く受け入れ、就職支援まで行っている。

※ 図版は山口福祉大学HPより



3) 大学等ニーズ調査の実施

調査対象は、計画地への施設開設を前提とすることから、西日本の国公立・私立大学を対象とし、公立・私立大学協会等への加盟校名簿より抽出した。

調査票の送付総数は、218件となり、郵送と電子メールによりアンケート送付を行った。回答期間内に返信のあった回答数は、30件であった。(回答率13.8%)

【大学等ニーズ調査の概要】

■調査の流れ

- ニーズ調査の内容検討（調査事項の設計） ……12～1月
- ニーズ調査（アンケート）の実施 ……2月
- ニーズ調査集計・分析 ……3月

■調査の実施方法

- 調査票の発送と回収 ……郵送および E-mail による
- 調査対象 ……近畿圏を中心に、公・私立各協会等の名簿より抽出

■アンケート調査の内容

- 別紙：アンケート調査シート 参照

■アンケート調査の実施結果（3月1日まで返信分）

- アンケート調査の発送 …… 218件
 - うち、E-mail…………… 135件（うち、5件は郵送にて再送付）
 - 郵 送…………… 83件
- 返信のあった件数 …… 30件

4) アンケート調査の集計と分析

回答があった大学のうち、大阪市内への開設意向はあるものの、西成区内への開設意向はなかった。また、今後、西成特区構想の進捗についての連絡を希望する大学は、1校のみであった。

「新今宮周辺地域における大学施設の立地性について」は、魅力に感じる事項として「交通の利便性」が57%と高い回答を得た。一方で、懸念される事項は、「大学本校や他の大学施設との距離」が47%、「地域環境（地域生活者等の多様性）」が35%と高い回答であった。

こうした結果から、利便性を活かしつつ、生活環境に配慮したまちづくりの発展が求められている。また、大学施設の開設については、大学経営上非常に重要な事項であり、回答のあった大学を中心に今後も丁寧な情報提供と意見交換を行っていく必要があると考える。

5) 大学・留学生会館の誘致の今後の検討について

アンケート結果を踏まえ、西成区（新今宮駅前）の現状において、大学等施設の立地希望に合致するものではなく、また、大学施設の開設には、法人内の経営・運営戦略にも強く関係することから、より密な協議による条件・環境整備が必要と考える。アンケート調査では、今後の連絡を希望する市内の大学があったことから、これを軸に、より具体の協議を特定の法人等に向けて進める必要があると想われる。

現況での開設には、環境面等に課題があり、将来的には関係施策との一体的な誘致活動が必要であるため、環境面等の課題解決など一定の条件が整備された時点で、事業化の可能性について再度検討を進める必要がある。